

(別記様式第1号)

計画作成年度	令和4年度
計画主体	大槌町

大槌町鳥獣被害防止計画

<連絡先>

担当部署名 岩手県上閉伊郡大槌町 産業振興課
所在地 岩手県上閉伊郡大槌町上町1番3号
電話番号 代表：0193-42-2111 直通：0193-42-8717
FAX番号 0193-42-3855
メールアドレス a-satoh@otsuchi.iwate.jp

1. 対象鳥獣の種類、被害防止計画の期間及び対象地域

対象鳥獣	ニホンジカ・ツキノワグマ・ハクビシン・ニホンザル・イノシシ
計画期間	令和4年度～令和6年度
対象地域	大槌町全域

2. 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止に関する基本的な方針

(1) 被害の現状（令和3年度）

（単位：a、千円）

鳥獣の種類	被害の現状		
	品目	被害数値	
		被害面積（a）	被害額（千円）
ニホンジカ	稲	138	4,337
	豆類	3	77
	飼料作物	150	1,067
	野菜	100	1,580
	いも類	1	6
	工芸作物	5	260
ツキノワグマ	稲	10	150
	野菜	10	150
ハクビシン	野菜	30	1,500
イノシシ	イノシシ	5	144

(2) 被害の傾向

<p>① ニホンジカ</p> <p>生息域が町の中心部を除く全域にまで拡大しており、一年を通して目撃情報や被害報告を受けている。5月から10月にかけては、野菜や水稻の食害が多発している他、水稻の押し倒しも発生している。</p>
<p>② ツキノワグマ</p> <p>町内中山間地域全域に生息しており、春から秋まで目撃及び被害による報告を受けている。被害の傾向は、トウモロコシや米であるが、米糠を食べるために、小屋や精米機等の機械を破壊するなどの被害が毎年発生している。</p>
<p>③ ハクビシン</p> <p>平成19年頃から目撃されはじめ、現在では町内全域に生息域が拡大しており、野菜への被害が年々増加している他、住居に住み着き、糞尿をするなど生活環境への被害が拡大している。</p>
<p>④ ニホンザル</p> <p>近年、目撃情報が少なくなっており、集落に定着しないよう対策を検討する。</p>
<p>⑤ イノシシ</p> <p>県内での目撃、被害報告が増加しており、町内でも水稻の押し倒しが発生していることから、被害防止対策について検討を行う。</p>

(3) 被害の軽減目標

(単位：千円)

指標	対象鳥獣	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和6年度)	備考
被害金額 【単位：千円】	ニホンジカ	7,327	6,227	各年度5%減
	ツキノワグマ	347	295	各年度5%減
	ハクビシン	1,500	1,275	各年度5%減
	ニホンザル			
	イノシシ	144	0	皆減
被害面積 【単位：a】	ニホンジカ	397	337	各年度5%減
	ツキノワグマ	22	19	各年度5%減
	ハクビシン	30	25	各年度5%減
	ニホンザル			
	イノシシ	5	0	皆減

(4) 従来講じてきた被害防止対策

	従来講じてきた被害防止対策	課題
捕獲等に関する取組	釜石・大槌猟友会長から推薦をうけた者を大槌町鳥獣被害対策実施隊（以下「実施隊」という）として任命しており、実施隊を中心として、銃器及びわなによる捕獲に取り組んでいる。	市町村間を跨いで鳥獣の移動が予想されるため、広域での連携強化が必要となっている。
防護柵の設置等に関する取組	防護柵については食害被害対策として、電気柵の設置を継続的に実施している。	電気柵の普及は進んでいるが、未だ導入されていない農地や、電気柵だけでは対応しきれないケースもあり、被害傾向を調査し、臨機応変な対応が求められている。

(5) 今後の取組方針

<p>従来に引き続き、実施隊により本計画で定める対象鳥獣の捕獲（ツキノワグマ、ニホンザルを除く）を進め、特にニホンジカについては生息数を減少させることにより農林業被害の減少を図る。</p> <p>捕獲に従事する担い手の育成については、免許取得の支援を行い新たな担い手の育成を行う。銃器を所持するための手続きの煩雑さや経済的負担が大きいいためわな猟免許取得も同時に促進し、くくりわなによる捕獲の普及推進による、捕獲効率の向上を目指す。</p> <p>電気柵設置事業を継続して行い、被害の抑制に努める。</p> <p>また、町民を対象とした鳥獣被害に関する研修会を開催することで、農家及び町民の被害防止対策意識の向上を図り、地域が一体となった被害防止対策の構築に取り組む。</p>
--

3. 対象鳥獣の捕獲等に関する事項

(1) 対象鳥獣の捕獲体制

実施隊を中心として、有害鳥獣捕獲及び追い上げを実施している。
また、ライフル銃を使用した捕獲も実施する。

(2) その他捕獲に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
4年度	ニホンジカ	ニホンジカ、ハクビシン、イノシシについては年間を通して捕獲が行えるよう、実施隊との連携体制を整備する。 担い手については、わな及び猟銃の新規免許取得に関する補助を行い確保に努める。 ツキノワグマ、ニホンザルについては緊急及び止むを得ない事由の場合のみ。実施の際は、各関係機関と情報共有を行い対応する。
5年度	ツキノワグマ ハクビシン	
6年度	ニホンザル イノシシ	

(3) 対象鳥獣の捕獲計画

捕獲計画数等の設定の考え方	
① ニホンジカ	被害額が最も多く、生息数が増加しており、今後も被害の増加が予想されることから、捕獲数を「上限なし」とし、捕獲可能な場合には年間を通して捕獲を実施する。
② ツキノワグマ	第二種特定鳥獣管理計画との整合性を図りつつ追い上げ等や電気柵等での対応とし、緊急時及び止むを得ない場合以外は捕獲を行わない。
③ ハクビシン	被害報告、目撃件数も増加しており、生息域、行動域の拡大は明らかであることから見直しを行い、引き続きわなによる捕獲を推進する。
④ ニホンザル	追い上げ等や電気柵等での対応とし、緊急時及び止むを得ない場合以外は捕獲を行わない。
⑤ イノシシ	町内でも水稻の押し倒しが発生していることから、被害防止対策について検討を行う。 また、被害の増加を防ぐため積極的に捕獲に取り組む。
【特記事項】 ニホンジカ、ハクビシン、イノシシについては捕獲実績、被害状況等を考慮しながら必要に応じて捕獲計画の変更を行う。	

対象鳥獣	捕獲計画数等		
	4年度	5年度	6年度
ニホンジカ	「上限なし」	「上限なし」	「上限なし」
ツキノワグマ	—	—	—
ハクビシン	60	60	60
ニホンザル	—	—	—
イノシシ	30	30	30

捕獲等の取組内容
ニホンジカ及びイノシシ 銃器及びわなによる捕獲を実施する。緊急時にも捕獲・駆除が行えるよう体制を整える。
ツキノワグマ及びニホンザル 緊急時及び止むを得ない場合以外は、捕獲をしない。 なお、ツキノワグマについて、わなによる捕獲をする際は、箱わなを使用する。
ハクビシン わなによる捕獲を推進する。年間を通じて捕獲できる体制を整える。

ライフル銃による捕獲等を実施する必要性及びその取組内容
○ライフル銃による捕獲等を実施する必要性 <ul style="list-style-type: none"> ・侵入防止柵の設置、わなや散弾銃を利用した有害捕獲を実施しているが、農作物被害は恒常的に発生し、特にニホンジカ及びイノシシによる被害は拡大傾向にある。 ・当地域の農作物被害は、中山間地帯で多発し、野生鳥獣も多く生息している。散弾銃による捕獲のみでは、至近距離からの射撃が必要となり、対象鳥獣に気づかれ有害捕獲が進まない状況にある。 ・ライフル銃は散弾銃に比べ射程距離が長く、遠距離からの射撃が可能となり、対象鳥獣に対し、気づかれずに射撃することができる。よって、対象鳥獣の捕獲率が向上する。また、半矢を防止することができる。
○取組内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンジカ及びイノシシの有害捕獲 捕獲手段：ライフル銃による捕獲 捕獲予定時期：4月～3月 捕獲予定箇所：町内一円 ・ツキノワグマの有害捕獲 捕獲手段：ライフル銃による捕獲 捕獲時期及び捕獲場所：有害鳥獣捕獲許可による

(4) 許可権限委譲事項

対象地域	対象鳥獣
該当なし	該当なし

4. 防護柵の設置その他の対象鳥獣の捕獲以外の被害防止施策に関する事項

(1) 侵入防止柵の整備計画

対象鳥獣	整備内容		
	4年度	5年度	6年度
ニホンジカ ツキノワグマ	電気柵 20,000m 累計(20,000m)	電気柵 20,000m 累計(40,000m)	電気柵 20,000m 累計(60,000m)

(2) その他被害防止に関する取組

年度	対象鳥獣	取組内容
4年度	ニホンジカ	地域において関係機関と連携し、アドバイザーによる研修会や座談会、被害防止対策の配布等により地域住民の意識の向上を図り、地域住民が一体となって誘引除去や追払い、侵入防止柵の管理を行うための体制作りを行う。
5年度	ツキノワグマ	
6年度	ハクビシン ニホンザル イノシシ	

5. 生息環境管理その他被害防止施策に関する事項

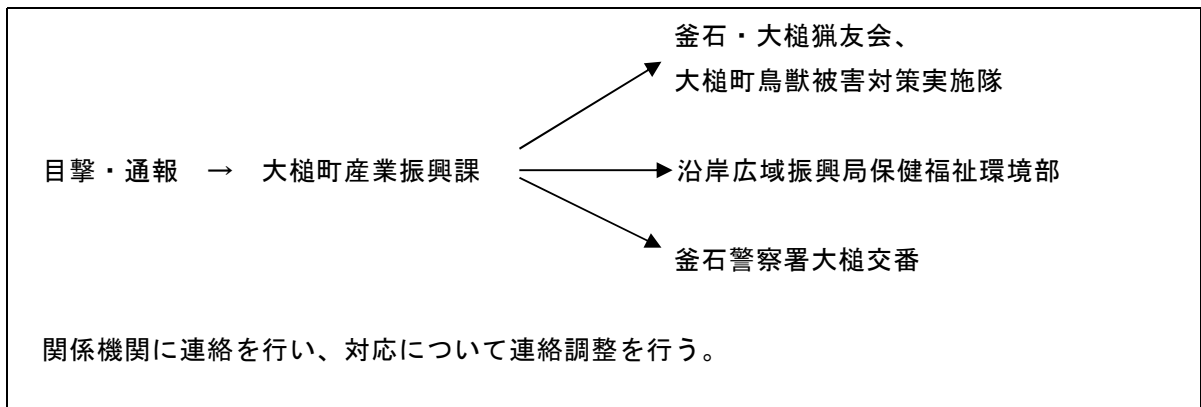
年度	対象鳥獣	取組内容
4年度	ニホンジカ	農地等の周辺における鳥獣緩衝帯の設置、放任果樹の除去、雑木林の刈払い等による里地里山の整備を実施。
5年度	ツキノワグマ	
6年度	ハクビシン ニホンザル イノシシ	

6. 対象鳥獣による住民の生命、身体又は財産に係る被害が生じ、又は生じるおそれがある場合の対処に関する事項

(1) 関係機関等の役割

関係機関等の名称	役割
大 槌 町	捕獲等に係る補助及び周囲の安全確保、防災広報による注意等の周知、捕獲許可等
釜石・大槌猟友会	捕獲・追い上げ等、死骸処理
大槌町鳥獣被害対策実施隊	捕獲・追い上げ等
釜石警察署大槌交番	周囲の安全確保、交通安全対策、広報活動
鳥獣保護巡視員	鳥獣の保護及び管理に関する助言及び指導
沿岸広域振興局保健福祉環境部	捕獲許可等

(2) 緊急時の連絡体制



7. 捕獲等をした対象鳥獣の処理に関する事項

捕獲した野生鳥獣の取扱いについては、原則として捕獲者各自がクリーンセンターに持ち込み処分を行う。ただし、ニホンジカのうち食用として活用できる個体については、ジビエ処理加工施設（ジビエ Works～三陸やま物語～）搬入し、ジビエ肉等として利活用を図る。

8. 捕獲等をした対象鳥獣の食品・ペットフード・皮革としての利用等その有効な利用に関する事項

(1) 捕獲等をした鳥獣の利用方法

食品	シカ肉のジビエ利活用を推進する。			
	年度	処理頭数	内訳	
			食用	ペットフード
ペットフード	3年度現状	271	271	0
	4年度目標	250	250	0
	5年度目標	780	515	265
	6年度目標	900	600	300
ひかく皮革	ジビエ利活用個体の状態に応じて可能な限り有効活用を図る。			
	【ジビエ利活用個体の皮利活用率】			
	3年度	4年度	5年度	6年度
利活用率	20%	20%	20%	20%
その他（油脂、骨製品、角製品、動物園等でのと体給餌、学術研究等）	利活用について調査検討を行う。			

(2) 処理加工施設の取組

1 整備計画	令和4年度において、MOMIJI株式会社が実施するジビエ処理加工施設整備事業に対する補助金を交付する。（施設名称「ジビエWorks～三陸やま物語～」）
2 年間処理計画頭数	上記(1)のとおり
3 運営体制	運営主体はMOMIJI株式会社であり、令和5年度4月共用開始予定。
4 食品等としての安全性の確保に関する取組	国産ジビエ認証を取得し、適切な衛生管理を行う

(3) 捕獲等をした対象鳥獣の有効利用のための人材育成の取組

ジビエ処理加工施設が新たに雇用契約をした従業員又はこれから雇用契約をする従業員に対する、衛生的な処理や解体技術の実習、経営ノウハウの習得等を図るOJT研修を実施する。

9. 被害防止施策の実施体制に関する事項

(1) 協議会に関する事項

協議会の名称	大槌町鳥獣被害対策協議会
構成機関の名称	役 割
大槌町	事務局・被害防止対策に係る連絡調整
釜石・大槌猟友会	捕獲等の被害防止活動の実施
花巻農業協同組合 営農センター沿岸	捕獲以外の被害防止対策、被害状況の把握、農家との連絡調整、情報収集
岩手県農業共済組合 東南部地域センター	農業被害防止対策の指導、助言
釜石地方森林組合	林業被害に関する調査及び情報収集
集落の代表者等	被害状況の把握、農家との連絡調整、情報収集
鳥獣保護巡視員	鳥獣被害防止対策の指導、助言
三陸中部森林管理署	林業被害防止対策の指導、助言
M O M I J I 株式会社	ジビエ利活用の推進

(2) 関係機関に関する事項

関係機関の名称	役 割
大槌町鳥獣被害対策実施隊	捕獲等の被害防止活動の実施
釜石警察署大槌交番	周囲の安全確保、交通安全対策、広報活動
大槌消防所	夜間休日における防災無線放送
岩手県	狩猟区域及び鳥獣保護区の設定・生息調査
沿岸広域振興局農林部	鳥獣被害防止総合支援事業の活用助言等
沿岸広域振興局 保健福祉環境部	捕獲許可等

(3) 鳥獣被害対策実施隊に関する事項

設置年月日：平成25年10月1日
活動内容：大槌町鳥獣被害防止計画に基づく被害防止対策を適切に実施するために、次に掲げる職務を行う。
① 有害鳥獣の捕獲及び処分に関すること。
② 捕獲技術の向上及び担い手の育成に関すること。
③ 人的被害の防止を目的とした緊急出動に関すること。
④ 有害鳥獣による被害の状況調査及び生息調査に関すること。
⑤ その他有害鳥獣による被害防止対策に関すること。
隊員：実施隊の隊員については次に掲げる者のうちから町長が委嘱し、又は任命する。
① 町内に居住し、鳥獣の捕獲及び保護に積極的に取り組むことが見込まれ、かつ、釜石大槌猟友会が推薦する者
② 町の職員
③ その他町長が適当と認める者

(4) その他被害防止施策の実施体制に関する事項

町内における農作物被害については集落懇談会等での情報把握に努め、集落との協力体制の構築と連携強化に努める。

10. その他被害防止施策の実施に関し必要な事項

- ①農作物被害状況調査の実施
- ②緩衝帯の整備
- ③放任果樹の処理
- ④電気柵の適切な設置及び維持管理に係る啓発活動
- ⑤ジビエ利活用の推進